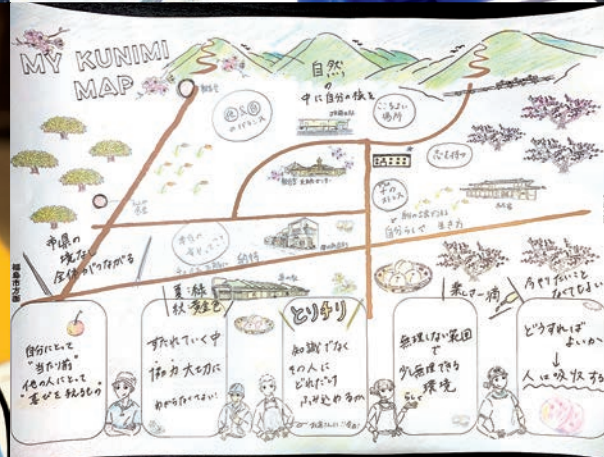


オンラインホイスコーレ



交わる価値観で



広がる世界

国見ホイスコーレ事業のひとつ「短期ホイスコーレ」が6月20日と21日の2日間、オンラインで行われました。

「DRAW YOUR MAP」出会いと気づきの地図をテーマに地域おこし協力隊の田上沙慧美さん、岡野希春さん、佐藤温さんが企画・運営し、町の人の交流を中心にオンラインで国見を旅行し、自分だけの国見の地図を描くというプログラム。

参加したのは、全国の大学生や社会人8名。参加者には、事前に国見の白地図や町の特産品などが詰まったホイスコーレBOXが送られました。

1日目は、「ローカルの人を知る日」。今回参加者が出会ったのは、渋谷フルーツガーデンの渋谷憲道

や人の温かさを感じました。特に農家さんが印象的で1日で2回会う機会があり、その際に違った表情を見ることができました。人の表情の豊かさが町の優しい雰囲気を作り出しているのではないかと思います。

今回の参加を通して、「無理のない範囲で少し無理ができる環境」という言葉が印象的でした。自分が頑張ることも大切ですが、それを支えてくれる環境もとても大切だということが伝わってきました。今後の自分の生き方の参考にしていきたいと思います。

参加したきっかけは、知り合いから今回のオンラインホイスコーレを紹介してもらったことでした。特に農業に関心を持っているので国見町の農業を知りたいとの思いもあり、参加を決めました。

実際に参加してみると、オリジナルの国見町のマップを作ることがとても楽しかったです。まだ、国見町には行ったことがないですが、行きたい気持ちが強くなりました。今回、オンラインでお会いした方とは、ぜひ現地で会ってみたいです！

町の印象としては、食の豊かさ

Interview 参加者の声



沖津 和明さん
(新潟食料農業大学3年生)

次はぜひ国見町を訪れたい

参加者はこの2日間で、町で暮らす人々から新たな気づきや学びを得て、この町を好きになってくれました。次は参加者が自分だけの地図を持って、実際に国見町を旅してくれること

さん、くろだ果樹園の黒田嬢さん、観音堂を守る会(小坂鳥取地区)のみなさん、パティスリーLa4区の渋谷郷美さん、ひふみ食堂の遠藤和則さんなど幅広いジャンルのみなさんです。国見での仕事や暮らしについて参加者へ発信しましたが、一方的に説明するだけではなく、参加者からの質問に答えるなど双方で交流を深めました。

2日目は「自分だけの地図を描く日」。初日に出会った国見の人たちに思いを馳せながら、それぞれ出会いを通して感じたことを参加者同士で対話をしながら深めました。遠く離れた場所からつながった旅の仲間や町の人の価値観を交わらせた地図が完成しました。

参加者との交流で自分にも気づきが

Interview 協力者の声

今回は、オンラインならではの楽しみ方がありました。町のことを知ってほしくても実際に来るとなるとハードルが高くなる人がいますが、オンラインなら気軽に参加できて町を知ってもらうことができると思います。

普段なら交流できない参加者と話しができて楽しかったです。また、自分が参加者へ一方的に話すのではなく相手の話やコメントを聞くことができ、自分自身にも気づきがありました。

渋谷 郷美さん
(パティスリーLa4区)



1参加者それぞれが出会いと気づきで彩ったオリジナルの国見の地図が完成 21日目の夕食でひふみ食堂の「とりチリ」をみんなと食べる田上隊員(右)と岡野隊員(左) 3旅のスタート前に参加者へ届いたホイスコーレBOXのイメージ(実際にはさくらんぼ、ひふみ食堂「とりチリ」、La4区クッキー、樋口納豆、国見のコシヒカリ、りんごジュース、あつかしさん、My Kunimi Mapなど) 4桃農家の1年を写真を使って説明する渋谷さん(右)と佐藤隊員(左)

国見ホイスコーレに協力してみませんか？

国見ホイスコーレ事業に協力いただける町民のみなさんを募集しています。幅広い年齢の人たちが生涯にわたり楽しく豊かに生きていけるような出会いと学びを得られる「学びの旅」です。興味のある方は、ぜひご連絡ください。活動内容についてはFacebookページをご覧ください。

【問い合わせ先】

ホイスコーレ Facebook
国見町地域おこし協力隊 (ホイスコーレ部門)
☎ 090-7527-0923
e-mail : kunimi.hojskole@gmail.com

